

2019年12月13日
クミネ工業株式会社

2020年3月期第2四半期決算説明会 主なQ&A

[自社株買い]

Q. 自社株買いをされたが、今後も継続して自社株買いをされるのか、また買われた自社株の使い道は？

A. 今回の自社株買いの目的はコーポレート・ガバナンスコード対応のため。今回、可能な限り行った。既存の自己株の使い道については、今後の機動的な資本政策のためキープしておきたいと考えている。

[土木分野]

Q. ベントナイト事業の売上の中で、復興関連および地熱関連の売り上げ比率はどのくらいか？

A. 土木分野全体を100とした時に占める地熱発電・海底資源向けの構成比は数%以下。復興関連の構成比は約3割。復興関連に関しては来期もう少し伸びると見ている。

Q. 今期は年間フル稼働ということなので、上期の倍ぐらいと考えてよろしいか。

A. ユーザーサイドの進捗状況にばらつきがあるため確たることは申し上げられない。ただ期初時点では下期需要増の話があったこともあり、追加の設備投資を実施した。周辺設備を入れて1億円超。今後の需要増にも充分対応ができる。

Q. 供給能力はまだ増やせるのか。

A. 大元の鉱山資源は充分ある。現在は掘削能力を更にレベルアップができるように全般のジャッキアップを図っている。いかに生産性の高い掘削機を導入するかを検討中。

Q. 復興需要だが、全て処理するには今後何年ぐらい見通しているか。

A. 継続性については様々な意見があり不透明ではあるが、当社としては5~6年とみている。

Q. 復興需要と言われている具体的な主用途は？

A. 用途としては2つある。

- ① 汚染廃棄物を置くときに、地下に汚染された水等が浸透しないためのバリア層形成。
- ② 汚染廃棄物のハンドリング性向上。汚染物は多量の水分を含んでおり扱いにくい状態であり、処理できるよう改質する必要がある。そちらのコントロールの為に弊社の材料を使用している。

いずれにしても仮置きのための処理になる。

以上